

- 問1 ヨーロッパ連合（EU）では、東欧諸国から西欧・北欧諸国への大規模な労働力の移動が見られますが、このような国境を越えた人口移動が可能となっている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. EUのすべての国で共通通貨ユーロが導入され、各国の賃金水準が完全に一致するよう調整されたため | 2. 西欧諸国が東欧諸国を併合し、すべての国々が単一の国家として統合されたため | 3. 東欧諸国で急激な人口減少が起きたため、EUの命令によって強制的な移住が行われているため | 4. EU域内では、加盟国間における「人の移動の自由」が認められており、国境を越えて働くことができるため |
|---|---|--|--|
- 問2 1990年代以降のヨーロッパの変遷をたどると、2004年にポーランドやチェコなど、かつての社会主義体制をとっていた国々を含む10か国がヨーロッパ連合（EU）に一斉に加盟しました。このような東欧諸国を中心とした加盟国の大幅な拡大が可能になった背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 1993年の組織発足と同時にすべての加盟国で共通通貨ユーロの導入が義務付けられたため | 2. 第一次世界大戦後の民族自決の原則に基づき、東欧諸国が独立国家としての主権を初めて獲得したため | 3. 冷戦の終結によって、ソビエト連邦の影響下にあった東欧諸国が民主化や市場経済化へと転換したため | 4. アメリカ合衆国との貿易摩擦に対抗するため、ヨーロッパ全体で天然資源を共同管理する体制が整ったため |
|---|---|---|---|
- 問3 夏季に降水量が極端に少なく乾燥し、冬季に一定の降水が見られる気候条件に適応した、地中海沿岸で盛んな農業形態を何といいますか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|-------|-----------|
| 1. 混合農業 | 2. 移牧 | 3. 酪農 | 4. 地中海式農業 |
|---------|-------|-------|-----------|
- 問4 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国の多くでは、国境付近において、車や人が遮るものなく自由に往来する光景が見られます。このように、加盟国間での国境検査を廃止し、パスポートなしで国境を通過できるようにした取り決めを何といいますか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 共通通貨ユーロの導入 | 2. マーストリヒト条約 | 3. アムステルダム条約 | 4. シェンゲン協定 |
|---------------|--------------|--------------|------------|
- 問5 ヨーロッパ連合（EU）が、域内での経済的な結びつきを強め、人や物の移動をより円滑にすることを目的として導入した共通通貨の名称を答えなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. ポンド | 2. ユーロ | 3. ドル | 4. フラン |
|--------|--------|-------|--------|
- 問6 フランスの輸出産業において、航空機産業は世界的に高いシェアを誇る重要な部門です。このようにフランスを含むヨーロッパ諸国が、航空機などの巨大な開発費用を要する高度な技術分野で、アメリカ合衆国などの大国と対等に競争できている背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|--|
| 1. フランス一国のみで全ての部品を設計・製造する完全自給体制を確立したため | 2. EU（欧州連合）加盟国間で部品の製造や組み立てを分担して行う国際協力が進んでいるため | 3. 農業を完全に廃止し、国家の予算のすべてを航空機産業に集中させたため | 4. 安価な労働力を確保するために、すべての生産拠点をEU域外の発展途上国に移転したため |
|--|---|--------------------------------------|--|
- 問7 ユーラシア大陸の西部に位置し、その大部分が北半球の中緯度から高緯度にかけて広がっている州として適切なものを選びなさい。（2026年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 北アメリカ州 | 2. オセアニア州 | 3. ヨーロッパ州 | 4. アフリカ州 |
|-----------|-----------|-----------|----------|
- 問8 東端にカムチャッカ半島を擁するロシア連邦において、広大な国土面積を活かした資源の輸出方法とその背景について正しく説明しているものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 天然ガスを液化せずに気体のまま長距離輸送するため、隣接する地域に対して大規模なパイプラインを建設して供給している。 | 2. 原油や天然ガスはすべて国内での消費に充てられており、広大な国土を移動させるための輸送コストを抑えるため輸出は禁止されている。 | 3. 世界最大の人口を維持するための食料生産に土地を優先的に使用しており、資源の輸出よりも穀物の輸入に重点を置いている。 | 4. 資源の輸送は船舶によるものが中心であり、内陸部から港までの輸送を容易にするため、国土の全域が温暖な気候となっている。 |
|--|---|--|---|
- 問9 北アメリカ大陸の東岸から大西洋を横断するように北東へ流れ、イギリスやスカンジナビア半島の沿岸に至る、ヨーロッパ北西部の気候に大きな影響を与える暖流の名称を答えなさい。（2021年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------------|----------|-----------|
| 1. 北大西洋海流 | 2. カリフォルニア海流 | 3. リマン海流 | 4. メキシコ湾流 |
|-----------|--------------|----------|-----------|
- 問10 日本への輸出構成を示した資料において、乗用車が約24%、医薬品が約18%を占め、輸出総額が6,272億円にのぼる国があります。この国の特徴として、乗用車とともに「一般機械」などの高度な工業製品の輸出が盛んであるという点があげられます。この国はどこですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-------|--------|-------------|
| 1. フィリピン | 2. 中国 | 3. ドイツ | 4. コートジボワール |
|----------|-------|--------|-------------|
- 問11 欧州連合（EU）は、約437万平方キロメートルという比較的限られた面積の中に5億人を超える人口を抱え、多額のGDPと膨大な貿易額を記録しています。このように、複数の国々が統合することによって高い経済水準や貿易額を実現できている背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 域内の加盟国間にかかる関税を原則として撤廃し、一つの巨大な共通市場を作っているから | 2. 加盟国すべての公用語を一つに統一し、行政手続きや教育制度を完全に一本化したから | 3. 域外のすべての国に対して一律に高い関税をかけ、外国製品の流入を完全に禁止しているから | 4. すべての加盟国が石油や石炭などのエネルギー資源を自給自足し、他地域への輸出を独占しているから |
|--|--|---|---|
- 問12 ドイツ、フランス、ポーランド、ルーマニアの4か国における2000年から2020年にかけての1人あたり国民総所得（GNI）の変化を分析した際、読み取れる傾向として適切なものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 4か国すべての所得水準が20年間でほぼ同じ金額に収束し、EU内の経済格差は完全になくなった。 | 2. ドイツとフランスの所得は20年間で急激に減少したため、東ヨーロッパ諸国との経済格差は統計上消滅した。 | 3. 2000年時点では東ヨーロッパ諸国の方が所得が高かったが、2020年には西ヨーロッパ諸国がそれを逆転した。 | 4. ポーランドやルーマニアの所得は20年間で数倍に伸びているが、金額そのものはドイツやフランスの方が依然として大きい。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 EU域内では、加盟国間における「人の移動の自由」が認められており、国境を越えて働くことができるため	EU（ヨーロッパ連合）の大きな特徴の一つは、域内における「人・物・サービス・資本」の移動の自由を保証していることです。これにより、加盟国の国民は他の加盟国へ自由に移動し、就業することが認められています。この制度と、東欧と西欧の間にある最低賃金の格差という経済的要因が組み合わさることで、賃金の高い国を目指した大規模な人口移動が起きています。
問2	答え 3 冷戦の終結によって、ソビエト連邦の影響下にあった東欧諸国が民主化や市場経済化へと転換したため	1989年の東欧革命や1991年のソ連解体により、長らく東側陣営（社会主義圏）にあった国々が西欧型の民主主義や資本主義経済を導入しました。これにより、西欧諸国が主導してきたEUの基準を満たすことが可能になり、2004年にはかつての敵対陣営を含めた大規模な統合が実現しました。
問3	答え 4 地中海式農業	夏季の乾燥と冬季の降水という地中海性気候の特色を活かした農業です。乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの果樹栽培と、冬の雨を利用した小麦栽培を組み合わせているのが特徴です。選択肢にある混合農業は家畜の飼育と穀物栽培を組み合わせたもの、酪農は乳牛を飼育し乳製品を生産するものを指します。
問4	答え 4 シェンゲン協定	ヨーロッパの多くの国々で、国境での検査なしに自由に移動できるようにした取り決めにシェンゲン協定といいます。国境検問所での一時停止やパスポート提示が不要となり、人や物の移動が活発化しました。選択肢にある「共通通貨ユーロ」は経済的な統合に関わるものであり、国境通過の手続きそのものとは異なる概念です。
問5	答え 2 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）では、加盟国間での貿易を活発にし、経済統合を進めるために共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国を越えて移動する際の両替の手間や手数料が省けるようになりました。イギリス（現在は離脱）のようにEU加盟時でも独自の通貨であるポンドを使い続けた国もあり、すべての加盟国が導入しているわけではありません。
問6	答え 2 EU（欧州連合）加盟国間で部品の製造や組み立てを分担して行う国際協力が進んでいるため	フランスに本社を置くエアバス社に象徴されるように、ヨーロッパの航空機産業はフランス、ドイツ、イギリス、スペインなどの国々が共同で出資し、国際分業によって開発・生産を行っています。このようにEU加盟国が協力することで、一国では負担しきれない巨大な開発コストを分散し、国際的な競争力を維持しています。
問7	答え 3 ヨーロッパ州	ユーラシア大陸は東側のアジア州と西側のヨーロッパ州に分けられます。ヨーロッパ州は、北は北極海、西は大西洋、南は地中海に囲まれており、緯度で見ると日本の大部分よりも北に位置する中緯度から高緯度の地域で構成されています。
問8	答え 1 天然ガスを液化せずに気体のまま長距離輸送するため、隣接する地域に対して大規模なパイプラインを建設して供給している。	ロシアは世界最大の国土面積を持ち、隣接する国々が多いという地理的利点があります。天然ガスは冷却して液体にする「LNG」としての輸送も行われますが、ロシアの場合は陸続きの強みを活かし、気体のまま効率的に大量輸送できるパイプラインをヨーロッパや中国などへ敷設しています。これにより、エネルギー資源を外交や経済の強力な手段として利用しています。
問9	答え 1 北大西洋海流	北大西洋海流は、メキシコ湾流から続く暖流で、北アメリカ東岸から大西洋を渡ってヨーロッパ北西部へと流れます。この海流は周辺の海域に温かい海水を運ぶため、高緯度にあるヨーロッパ北西部の気温を高く保つ要因となっています。
問10	答え 3 ドイツ	ヨーロッパ最大の経済規模を持つドイツは、自動車産業や機械工業、化学工業が非常に発達しています。日本向けの輸出においても、ブランド力のある乗用車や医薬品、精巧な一般機械が主要な品目となっているのが特徴です。他の選択肢のうち、中国やフィリピンは電気機器の割合が高く、コートジボワールはカカオ豆などの農産物輸出が中心となります。
問11	答え 1 域内の加盟国間にかかる関税を原則として撤廃し、一つの巨大な共通市場を作っているから	EUは加盟国同士の経済的な壁を取り払うことを目的としています。国境での関税をなくし、共通通貨ユーロを導入（一部の国を除く）することなどで、域内の貿易を活性化させています。これにより、個別の国では達成できない規模の経済圏を構築し、世界の総貿易額の中で大きな割合を占めるに至っています。
問12	答え 4 ポーランドやルーマニアの所得は20年間で数倍に伸びているが、金額そのものはドイツやフランスの方が依然として大きい。	21世紀に入り、EUに加盟したポーランドやルーマニアなどの東ヨーロッパ諸国は、西側諸国からの投資を受けて1人あたりの国民総所得を大幅に伸ばしました。しかし、もともとの経済規模が大きいドイツやフランスなどの西ヨーロッパ諸国も緩やかに成長を続けており、その絶対的な所得水準の差（経済格差）は依然として存在しています。このような統計的背景から、EUでは地域的公平性を保つための地域政策が重要な課題となっています。